

トルコギキョウの3月～4月出し作型に適した品種の特性

熊本県の平坦地において、8月中旬に播種し夜冷育苗を行い、10月中旬・下旬に定植して、3月～4月出し作型で高品質な切り花が得られるトルコギキョウ8品種を選定した。

農業研究センター農産園芸研究所花き部（担当者：渡辺 功）

研究のねらい

トルコギキョウの3月～4月出し作型では開花が遅れ、単価が安い5月にずれ込む早生品種が多いことが従来から問題になっている。そこで、高単価が期待できる3月～4月に採花できる品種を明らかにし、3月～4月出し作型の安定を図る。

研究の成果

- 1 熊本県の平坦地におけるトルコギキョウの3月～4月出しに適する品種として、「彩の波」「キャンディピンク」「ネイルホワイト」「ネイルピーチネオ」「キャンディピーチ」「フローネピンクフラッシュ」「キャンディオークッド」「ネイルマリンネオ」を選定した。

これらの品種は、他の品種と比べ開花が早くて、ロゼット化しにくく、切り花長が80cm以上あり、花蕾数も多い特徴を持つ。

- 2 これらの品種を平坦地で栽培する場合、10月～11月出し作型の育苗が終了した8月中旬に播種して夜冷育苗を行い、10月中・下旬に定植すると、3月上旬～4月下旬に採花できる。
- 3 ネイルピーチネオとキャンディオークッドは、冬季寡日照の短日条件下でも開花が遅れない特性を持つ。

普及上の留意点

- 1 トルコギキョウは定植後の灌水量が不足すると生育が極端に劣るので、定植後の灌水を充分に行う。
- 2 花芽分化期以降の加温の設定は15℃以上とする。
- 3 昼間の換気は、定植後から採花まで27～30℃を目安に行う。

表1 3月～4月出しに適したトルコギキョウ品種の特性

品種	花色	採花日 (月/日)	切花長 (cm)	切花重 (g)	蕾数 (個)	ロゼット化 率(%)
彩の波	紫覆輪	3/24	101.7	115.6	10.1	6.7
キャンディピンク	ピンク	3/27	94.3	102.3	10.7	2.8
ネイルホワイト	白	3/29	109.5	111.1	9.1	0
ネイルピーチネオ	ピンク覆輪	3/30	90.6	89.7	9.0	0
キャンディピーチ	ピンク覆輪	3/31	90.1	76.1	7.5	0
加-社 ソクラッシュ	ピンクのかすり	4/1	100.2	117.8	7.4	0
キャンディオキッド	赤紫	4/2	89.1	77.7	7.6	0
ネイルマリンネオ	紫覆輪	4/4	101.7	97.5	8.1	0

注) 平成11年8月11～12日播種、14 夜冷育苗、10月14日と21日に定植。
定植後は15 以上に加温。

表2 3月～4月出しに適した品種の定植日と採花期間

品種	定植日	採花期間			
		2月 25日	3月 10日 20日	4月 10日 20日	
彩の波	10/14		-----	-----	-----
キャンディピンク	10/21		-----	-----	-----
ネイルホワイト	10/21		-----	-----	-----
ネイルピーチネオ	10/14		-----	-----	-----
キャンディピーチ	10/21		-----	-----	-----
加-社 ソクラッシュ	10/21		-----	-----	-----
キャンディオキッド	10/21		-----	-----	-----
ネイルマリンネオ	10/14		-----	-----	-----

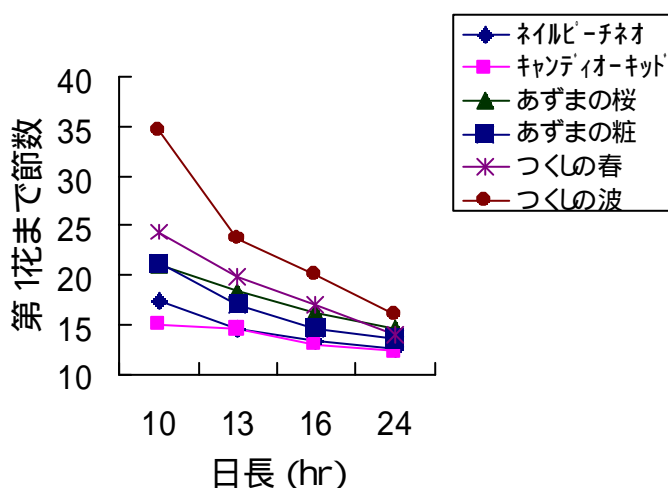


図1 日長による節数の変化

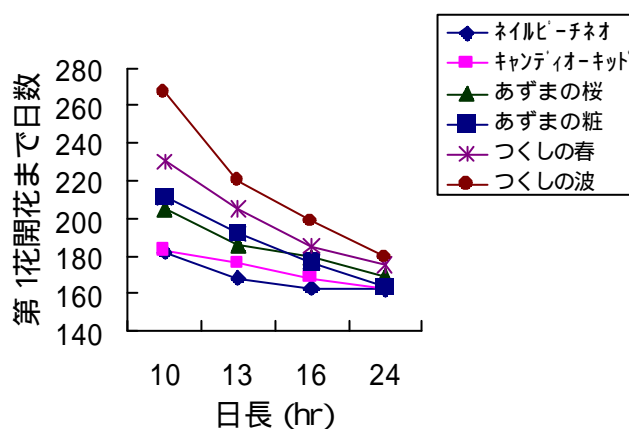


図2 日長による開花まで日数の変化

注1) 図1と図2は、平成9年9月19日播種の自然育苗、11月18日定植、定植後18 以上に加温。

注2) ネイルピーチネオとあずまの桜、あずまの粧は早生品種。キャンディオキッドは極早生品種。
つくしの春とつくしの波は晩生品種。